

うた ひつじの詩だより

2010. 7. 1
毎月発行 No.112
この便りをご注文の品と
いっしょにお届けします

「シュタイナー幼稚園のうた」が復刊しました。改めて読み返してみると、レミソラシの音からなる5度音程の歌がなぜ幼い子どもたちにふさわしいのか、大変腑に落ちる説明がされていました。ラの音を支点として5度の音程の音からなる歌の調べは、上にも下にも開かれていて、9歳までの子どもの生活に寄り添うのだそうです。大人にとっては、はじめちょっと物足りないような、懐かしいような、なじんでくるとしっくりと心癒されるそんな歌です。(「シュタイナー幼稚園のうた」水声社/1000円税別)



朝日カルチャーセンター新宿 ウォルドルフ人形と羊毛の手仕事～抱き人形のヨアキム

7月8日(木)と9月9日(木)のいずれも 13:00～15:00、ウォルドルフ人形のヨアキムを作ります。



ヨアキムは身長約25cm、ヴェロアにほどよい量の羊毛が詰められていて、赤ちゃんや小さいお子さんの手にもほっこりなじむ大きさと柔らかさです。シンプルで、はじめてのお人形にたいへん適していると思います。作り手にとっても取り掛かり易く、羊毛に慣れていない方、初めてウォルドルフ人形を作る方にもお勧めです。



お子さんのため、お孫さんのため、お友達のご出産祝いに、あるいはご自身のためにお作りになってみませんか。今回、私も助手として参加いたします。みなさまのお越しを楽しみにお待ちしております。

《お問い合わせ、お申し込み：朝日カルチャーセンター新宿 TEL：03-3344-1947 または 03-3344-5450》
佐藤治子

佐々木奈々子推薦！！ 朝日カルチャーセンター湘南 スウェーデン語を学ぼう スウェーデンの文化とスウェーデン語の入門

7月13日、20日、27日(いずれも火曜日) 11:45～13:15 現代スウェーデン文学研究の第一人者である山下泰文 東海大学名誉教授による、歴史と文化、他言語との関係、文字と発音、基礎文法の講座です。スウェーデンとその言語の魅力を堪能できます。ご関心ありの方、奮ってご参加ください。

《お問い合わせ、お申し込み：朝日カルチャーセンター湘南 TEL：0466-24-2647》

「ウォルドルフ人形と手仕事」～スウェーデンひつじの詩舎展～

7月10日(土)～14日(水) 9:30～17:00 最上川「千本だんご」蔵座敷

山形県北村山郡大石田町大石田乙76 TEL:0237-35-2312

★期間中の10日、11日、12日、ヨアキム又は赤ちゃんサーラの講習会を行います。

《お問い合わせ・お申し込み：TEL&FAX 0237-36-1012 吾妻みつる》 担当：榛地裕子

お取り扱い店が増えました。どうぞよろしくお願いたします。

ゆめさく 〒708-0806 岡山県津山市大田 592-11 シーズン・オブ・ヒル1F
Tel&Fax 0868-27-1085

遊びのこころ

人形に役割があるとして、大きく分けるとどうなるでしょう。

1) 子ども(あるいは大人の中の子ども)の心に沿う分身として。2) 作ることの純粹な楽しみの発露として。3) 遊びの対象(あるいは玩具)として。4)、5) と、まだあるかもしれません。私たちが作っているウォルドルフ人形は、この中で、1番目を最も大切に考えて作っています。けれど今日は、3番目の「遊びあるいは玩具として」の人形について、考えてみました。

岡山県津山市に、子どもの本とおもちゃの専門店「ゆめさく」さんがあります。ウォルドルフ人形を、というお話をいただいて、一度訪ねたかった津山に最近、行きました。もちろん、ばたぼん(講師)の山中さんにも会いました。「ゆめさく」の安東さんと山中さんのおかげで、本当に夢が咲いたような旅行になったのです。

津山には、この4月に移転してきた「現代玩具博物館、オルゴール夢館」がありました。ここの館長、橋爪さん、ゆめさくの安東さんは今は亡き西田明夫さんの動くおもちゃ(オートマタ)の世界をご一緒された方とか。西田明夫さんとは知る人ぞ知る、動くおもちゃの第一人者です。私はかつて旅先で、からくりのオルゴール人形を衝動買いしました。とはいっても、私は、清水の舞台から飛び降りたその買い物、西田明夫作となっていることに気がつか



「FAMILY」(「摩訶不思議図鑑 ～動くおもちゃ・オートマタ 西田明夫の世界～」より)



ず、壊れて始めて知ったうつ者です。その作品は明治の良き時代の六甲山をイメージして、イギリス人グループ氏の家族がモチーフになっている、と、津山で求めた本にありました。把手を回すと、オルゴールが鳴り、4つの人形も思い思いに動き出します。六甲山とは知らなかったな～と思いながらも、イメージがふくらみ楽しめます。津山、思いがけない場所での邂逅に感動しました。あ、オルゴールの演奏会も素晴らしいものでした。

人形とは、少し離れますが、私がもうひとつ、宝物に思っているおもちゃがあります。いただきものです。素材はブリキのような、真鍮のような小さな飛行機と格納庫の組み合わせです。手作りであることは、一見してわかります。見る人によっては、ガラクタに見えるかもしれません。でも、動きます。オルゴールつきでそのネジを回すと、飛行機が回転して、格納庫を出たり入ったりします。乾いた空気と砂埃と真っ青な空が想像され、オルゴールの曲と共に、何とも言えないノスタルジーに包まれて本当に胸がキュンとします。全く立派とはいえない素朴なブリキの切りっぱなしに、です。

おもちゃの何に魅力を感じるかと言えば、人は(と言って悪ければ、私は)作られた物の後ろにある、作り手の遊び心に共鳴するのに違いない、と思います。人形に戻って、人形の役割としての、その3)に求められるものは、結構、生きていくのに欠くべからざる要素のひとつでもあるのかな～と。
佐々木奈々子

編集担当 佐藤治子
スウェーデンひつじの詩舎のホームページ
<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

♥スウェーデンひつじの詩舎♥
スペース ペレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2
TEL&FAX 045-881-6900,6665
佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708
談窓口(金)寺田裕子 045-881-7035